

【学力向上フロンティアスクール用間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	和歌山県
-------	------

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	新宮市立 蓬萊小学校									
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数	
学級数	1	2	2	1	1	2	1	10		
児童数	39	42	45	35	34	42	2	239	18	

研究の概要

1. 研究主題

基礎基本の充実を図り、一人ひとりが確かな学力を身につけるための、多様な学習指導方法の研究

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

・1年～6年：算数
 児童の理解の状況に差が出やすく、その上、差が確認しやすい教科である。
 TT・少人数・個別など、多様な学習指導方法で取り組むことができ、等質・習熟度別・能力別などに分けて指導しやすい。
 指導と評価の一体化を図りやすく、評価規準を明確にした指導が可能である。

・6年：専科(社会・理科・音楽・家庭)
 中学校の教科担任制に対応するための準備期間となる。
 教員の得意分野を生かした指導ができる。

・1年～6年：読書タイム・ドリルタイム
 一人ひとりの学力や考えに応じた学習ができ、基礎基本の徹底が進む。
 個々の力に応じたドリル教材を開発することができる。

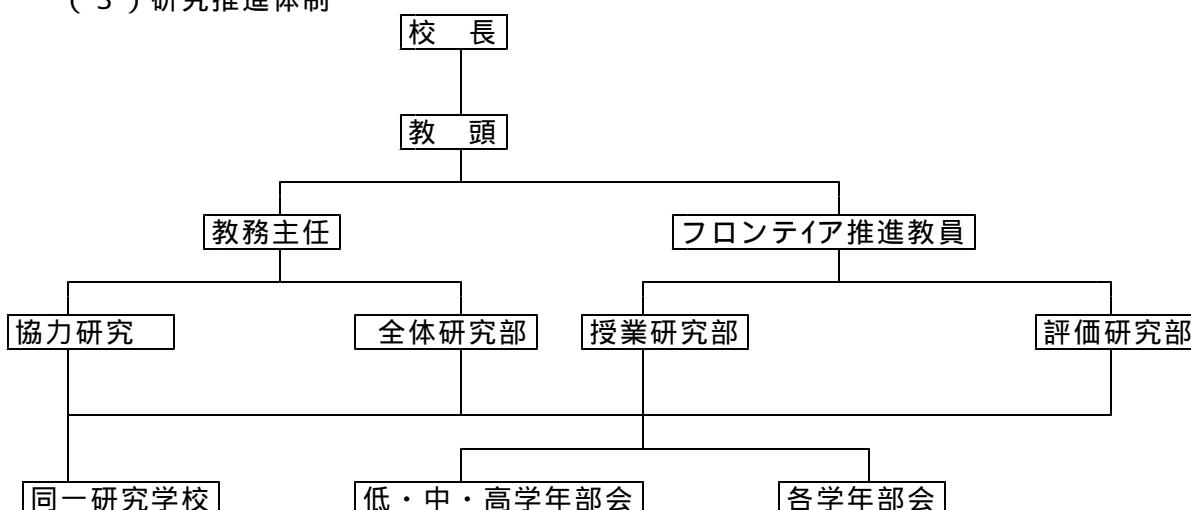
・4～6年：総合
 児童の多様な考えに対応し、個々の学力を伸ばすために、地域人材を活用することができる。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	研究課題	<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの学力向上を図るための指導方法・指導体制の工夫・改善 一人ひとりの学力向上を図るための教材の開発 一人ひとりの学力向上を図るための地域人材の活用 一人ひとりの学力向上を図るための指導と評価の一体化
	研究内容	<ul style="list-style-type: none"> 学力向上につながる効果的なTT指導 児童の興味関心や習熟度に応じた少人数指導 教員の特性を生かした専科指導 児童の到達度に則したドリルタイム指導 児童の発達段階に見合った読書タイム指導 児童の習熟度に対応した基礎教材と発展教材の提示 地域の人材を中心とした学校外の様々な分野の専門家の活用方法 指導と評価が一体化した評価規準の作成
	研究方法	<ul style="list-style-type: none"> 全体研究部・授業研究部・評価研究部を設けて、教務主任・フロンティア推進教員を中心に、現職教育の場で研究を深める。 同一研究学校や先進学校の取り組みに学び、本校に合致した実践を築く。 研究授業や研究発表会を通して具現化していく。

平成16年度	<p>研究課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの学力向上を図るための指導方法・指導体制の工夫・改善 一人ひとりの学力向上を図るための教材の開発 一人ひとりの学力向上を図るための地域人材の活用 一人ひとりの学力向上を図るための指導と評価の一体化 <p>研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力向上につながる効果的なTT指導 児童の興味関心や習熟度に応じた少人数指導 教員の特性を生かした専科指導 児童の到達度に則したドリルタイム指導 児童の発達段階に見合った読書タイム指導 児童の習熟度に対応した基礎教材と発展教材の提示 地域の人材を中心とした学校外の様々な分野の専門家の活用方法 指導と評価が一体化した算数科の授業 <p>研究方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体研究部・授業研究部・評価研究部を設けて、教務主任・フロンティア推進教員を中心に、現職教育の場で研究を深める。 前年度の成果と課題を踏まえ、一人ひとりの学力が伸びる教育実践を進める。 研究授業や研究発表会を通して具現化していく。
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

<p>全学年の算数科において、全単元の評価規準を作成することができた。</p> <p>全学年の算数科において、少人数指導を実施することができた。</p> <p>TT指導と個別指導の併用によって、授業についていきにくい児童の支援が効果的に行われた。</p> <p>ドリル教材を有効に活用し、基礎学力の向上が見られた。</p> <p>評価規準を明確した学習指導案作りが進み、授業のねらいや展開のヤマ場がよくわかる研究授業を実践することができた。</p> <p>先進学校や同一研究学校との交流が進み、新しい取り組みを的確に入手することができた。</p> <p>総合的な学習を中心に、様々な学習の場で地域の人材を活用することができた。</p> <p>教員の特性を生かした専科指導ができ、指導する教員だけでなく児童からも喜ばれた</p> <p>県下一斉学力テストでは、学校独自の分析をし、概ね満足できる結果となった。</p>

2. 今後の課題

児童の指導に関する課題

習熟度別の少人数指導において、グループの入れ替えをどの程度のところで実施するか。また、児童の希望をどの程度入れていくのか。

作成した評価規準を生かして、授業中のチェックをどの程度進めていくのか。

発展教材をどの段階から提示していくか。また、難易度はどの程度にするのか。

児童の意識や考えを把握するためのアンケートを実施してはどうか。

教職員の取り組みに関する課題

等質グループに分けた少人数指導において、担当教員間の指導内容のすり合わせ時をどこで確保するか。

各学年で使用したドリルを、到達度別に整理して全学年で使用できるようにする必要があるのではないか。

各部会をもう少し活発化させて、研修の深まりを図ることが大事である。

他教科の評価規準作りをどのように進めていくのか。

その他の課題

新しい地域人材を掘り起こす必要がる。

TT・少人数・専科・地域人材の活用などをアピールする効果的な方法は。

学力等把握のための学校としての取組

和歌山県学力診断テスト 平成15年11月26日

・基礎的・基本的な内容の確実な習得を図り、学習指導に関する課題を明らかにし、学校の指導方法等の工夫改善に役立てる。

・四年、五年、六年の国語・社会・算数・理科の四教科

実施後、直ちに学校独自の分析をして、通過率の低かった学級に対して、TTや少人数指導の時間を増加させた。

生活・学習アンケート 平成15年12月

・基本的な生活習慣や学習習慣などの実態を調査し、学力診断テストの結果と関連づけて、より掘り下げた実態把握に努める。

家庭学習の習慣が身に付いていない児童、家庭の支援が十分に受けられないと考えられる児童等の学力は、多少の問題点も見られる。

TK式観点別到達度学力検査 平成16年2月

・田中教育研究所のデータ作りに協力し、毎年全学年の学力診断テストを実施して、基礎基本の定着度や指導上の問題点などを把握する。

過去3年間では、概ね満足できる結果であったが、学習に問題点を抱えた児童が固定化しているというような実態も明らかになっているので、TTや少人数指導の他に個別指導の時間を確保することも必要と思われる。

学校評価 平成16年2月

・保護者や学校評議員に、学校の様々な教育活動を評価していただく。

概ね良い評価をいただいているが、中には厳しい判定や意見も見られる。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

フロンティアスクール中間発表会 平成16年2月13日 (別紙資料)

・県内研究学校 29校 郡内小中学校 46校 郡内教育委員会 7

近隣研究学校交流授業研究会 平成15年6月11日

・丹鶴小学校 下里小学校 県指導主事 市教委指導主事

県担当指導主事学校訪問研究授業 平成16年1月21日

・丹鶴小学校 下里小学校 県指導主事 市教委指導主事

学校開放週間終日授業参観 平成15年11月13・14日

・保護者・地域・関係団体の皆様に、TT・少人数・外部講師等の授業を参観していただく。

~~~~~  
次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること（複数チェック可）

|                      |                            |                         |                        |
|----------------------|----------------------------|-------------------------|------------------------|
| 【新規校・継続校】            | 15年度からの新規校                 | 14年度からの継続校              |                        |
| 【学校規模】               | 6学級以下<br>13～18学級<br>25学級以上 | 7～12学級<br>19～24学級       |                        |
| 【指導体制】               | 少人数指導<br>一部教科担任制           | T・Tによる指導<br>その他         |                        |
| 【研究教科】               | 国語<br>生活<br>体育             | 社会<br>音楽<br>その他（総合的な学習） | 算数<br>図画工作<br>理科<br>家庭 |
| 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 | 有                          | 無                       |                        |